

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門基礎	病因論	微生物学	1	30	1年次前期～ 後期	非常勤講師
		病理学				京都第二赤十字病院医師

テキスト(発行所)	[微生物学] 一系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進3 (医学書院) [病理学] ナーシンググラフィカ 病態生理学 (メディカ出版)
-----------	---

学習の ねらい	外界からの病因である微生物や細胞、組織に生じる変化について学び、疾病の成り立ちの基礎を理解する。
学習目標	〔微生物学〕 1. 微生物の種類と各々の生態、感染経路、増殖様式、病原性などについて理解できる。 2. 感染症の予防の基本となる滅菌と消毒の概念について理解できる。 〔病理学〕 1. 人体に生じる種々の形態的、機能的な異常状態について、その原因、発生のしくみ、身体に与える影響について理解する。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
微生物学 1回	1. 微生物と微生物学 2. 微生物の性質	・微生物学の対象と目的 ・微生物の種類と性質 ・細菌の形態と特徴	講義
2回	1. 感染症の現状,問題点と対策 2. 消毒と滅菌	・感染症の変遷 ・感染症の現状と問題点 ・感染症への対策 ・消毒と滅菌	講義
3回	感染症の検査と診断	・細菌学的検査法 ・血清学的検査法 ・手指の常在細菌の培養	講義 演習 演習後のレポート
4回	病原細菌1	・グラム陽性球菌(ブドウ球菌属 レンサ球菌属・腸球菌属) ・グラム陰性球菌(ナイセリア属)	講義
5回	病原細菌2	・グラム陰性好気性桿菌 ・グラム陰性通気性菌(大腸菌・ ヘリコバクター属) ・嫌気性菌 ・マイコプラズマ	講義
6回	病原細菌3(細菌性・毒素系食中毒)	・サルモネラ属 ・ビブリオ属 ・病原大腸菌 ・コレラ, 赤痢, セレウス等 ・ボツリヌス菌	講義
7回	病原ウイルス1	・ウイルスの特徴 ・DNAウイルス (ポックスウイルス・ヘルペス ウイルス他)	講義
8回	病原ウイルス2	・RNAウイルス (インフルエンザウイルス・レト ロウイルス・肝炎ウイルス他)	講義

<病理学>

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	1. 病理学の考え方 2. 細胞や組織に生じる変化1	・病理学とは ・炎症 ・循環障害	講義
2回	細胞や組織に生じる変化2	・壊死 ・萎縮 ・過形成、肥大、再生	講義
3回	細胞や組織に生じる変化3	・腫瘍(定義, 統計, 原因 分類, 良性・悪性の違い, 転移様式など) ・免疫、代謝異常など	講義
4回	具体的な疾病を通して病理的な変化を学ぶ 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・炎症例(肺炎・骨折の治癒過程など) ・循環障害例(脳腫瘍・狭心症と心筋梗塞など) ・腫瘍(胃癌と肺癌・白血病) ・免疫機構の異常 ・代謝異常(糖尿病とその合併症、急性及び慢性膵炎)など 学習テーマは、後日発表します。	グループワーク の発表&解説
5回	具体的な疾病を通して病理的な変化を学ぶ 第2回		グループワーク の発表&解説
6回	具体的な疾病を通して病理的な変化を学ぶ 第3回		グループワーク の発表&解説
7回	具体的な疾病を通して病理的な変化を学ぶ 第4回		グループワーク の発表&解説
単位認定 の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 微生物学筆記試験・・・50点満点 病理学筆記試験・・・50点満点 2つの試験の合計点が60点以上であること。 3. 1と2の条件を満たしていること		